

えんげ
摂食・嚥下障害看護認定看護師



主任看護師
とみだひろかず
富田浩一

▲嚥下訓練の様子



▲嚥下機能検査

超高齢社会を迎え、様々な病気を抱えている患者さんが増えてきており、ものを食べること(摂食)、ものを飲み込むこと(嚥下)に障害を抱える患者さんも増えてきています。もし口から食べられなくなってしまうと、特に高齢者は体が弱り、活動量が減り、寝たきりになってしまうことがあります。免疫力が落ち、生命を脅かす合併症を引き起こしやすくなります。何より口から食べる楽しみがなくなり、社会性を失い生きる意欲がなくなってしまうこともあります。そうならないためには低栄養・脱水・誤嚥性肺炎・窒息の予防、嚥下機能評価や訓練、適切な食事介助、口腔ケアなどが重要となります。

私は平成24年に摂食・嚥下障害看護認定看護師となり、実践を通して看護師への指導をしています。そして多職種との橋渡しの存在となり、連携してチームアプローチしています。

食生活支援について、院内教育や看護学校、他施設、地域住民の方向けに出張講座も行っています。通院中の患者さんや地域の医療機関からの紹介患者さんを対象として、耳鼻いんこう科外来での嚥下内視鏡を用いた嚥下評価に立ち会い、医師の検査後に看護師による食生活指導をしています。また、認定看護師による摂食・嚥下相談外来も開設しています。以下のことでお悩みの方は当院ホームページを参考に、地域医療センターへご相談ください。

摂食・嚥下障害看護は地域医療・介護において非常に重要と考えています。今後とも、地域のみなさんと食生活支援を通じてつながりが持てるよう尽力します。

嚥下(看護)

- ・摂食条件指示書の作成
- ・摂食機能療法
- ・嚥下相談外来
- ・公開講座

栄養

- ・管理栄養士との連携
- ・栄養サポートチーム回診

チーム医療

- ・歯科口腔外科・歯科衛生士との連携
- ・口腔機能評価

口腔ケア

- ・リハビリ療法士との連携
- ・耳鼻いんこう科医師との連携
- ・嚥下評価、ポジショニングなど

嚥下リハビリ

お悩みや質問の一例

- ・食事の最中に最近よくむせるから、食事がすまない。
- ・飲み込むときにのどに引っかかる感じがする。
- ・飲み込みやすくできる食事の工夫を教えて。
- ・胃ろうがあるけれど、口から少しでも食べることはできないでしょうか。

次回は脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、救急看護認定看護師についてご紹介します。



摂食・嚥下相談外
来についてはこちら
医療センターへ
〒900-8585 富山県富山市